



もくじ

安全上のご注意	2
設置上のご注意	3
組立配管図	3
設置手順	5
点検・仕上げ	8
お願い事項	8

- ◆この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- ◆設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。

- ◆水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。
- ◆給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- ◆設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- ◆本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
- ◆梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

安全上のご注意 必ずお守りください

- 設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ 警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

必ず実行



このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

禁止

⚠ 警告



必ず実行

- キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う
固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。



必ず実行

- 水道工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者」が行う
接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因となります。

⚠ 注意



必ず実行

- 組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する
設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。
- 引出しに収納する物は、収納物の高さに注意する
収納物が排水器具やボウルと接触し、水漏れ破損などの原因になります。
- 排水パイプと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う
接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。
- 設置後、排水栓を閉栓した状態で吐水を全開にして水がボウル面からあふれそうな場合は止水栓をしぼって流量調整する
水があふれることで拡大損害につながるおそれがあります。



必ず実行

- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う
接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。
- 扉や引出表板を調整する時は手回しドライバーを使用する
ネジがはずれて扉や引出表板が落下するおそれがあります。
- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する
扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。



禁止

- ストラップをU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない
使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。

快適にご使用いただくためにお守りください

- 直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避ける
プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。
- 設置する時にカウンターやボウルに載らない
ボウルが割れたりキズがつくおそれがあります。

- 工具類等をキャビネットに落としたり当てたりしない
キズがついたり欠けたりするおそれがあります。
- 浴室内等の湿気の多い場所への設置は避ける
製品が早く傷むおそれがあります。

設置上のご注意

設置前のご確認

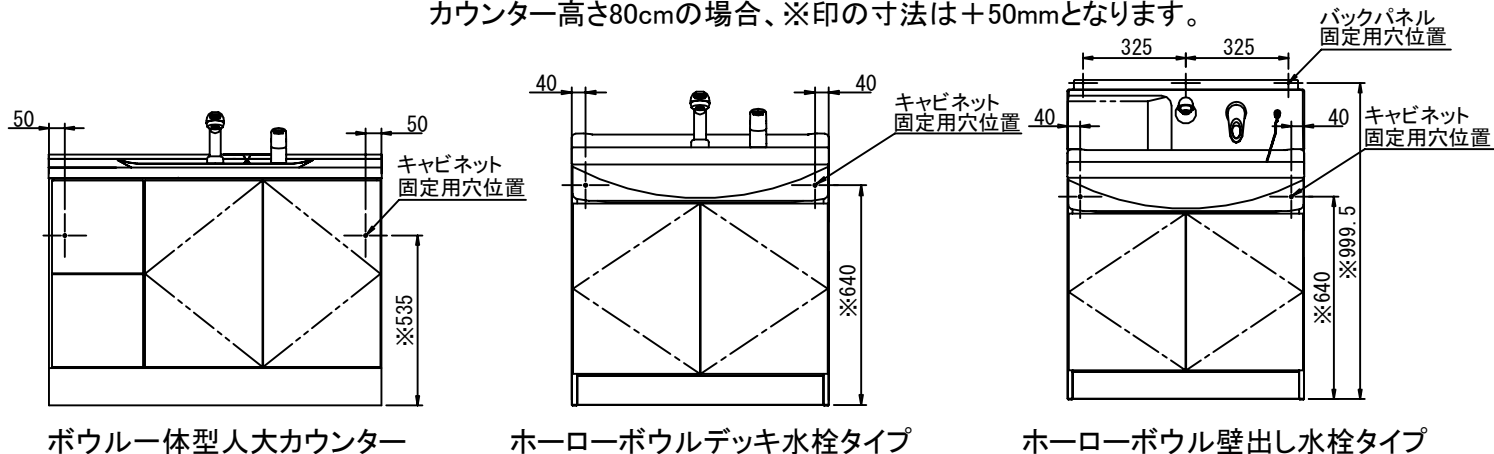
- ・取付用栈木が、壁面の指定位置に設置されていることを確認してください。(下台壁面固定位置図参照)
- ・屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。(給排水位置図参照)

組立配管図

●下台壁面固定位置

注)図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。

カウンター高さ80cmの場合、※印の寸法は+50mmとなります。



ボウル体型人大カウンター
(間口75~120cm)

ホーローボウルデッキ水栓タイプ

ホーローボウル壁出し水栓タイプ

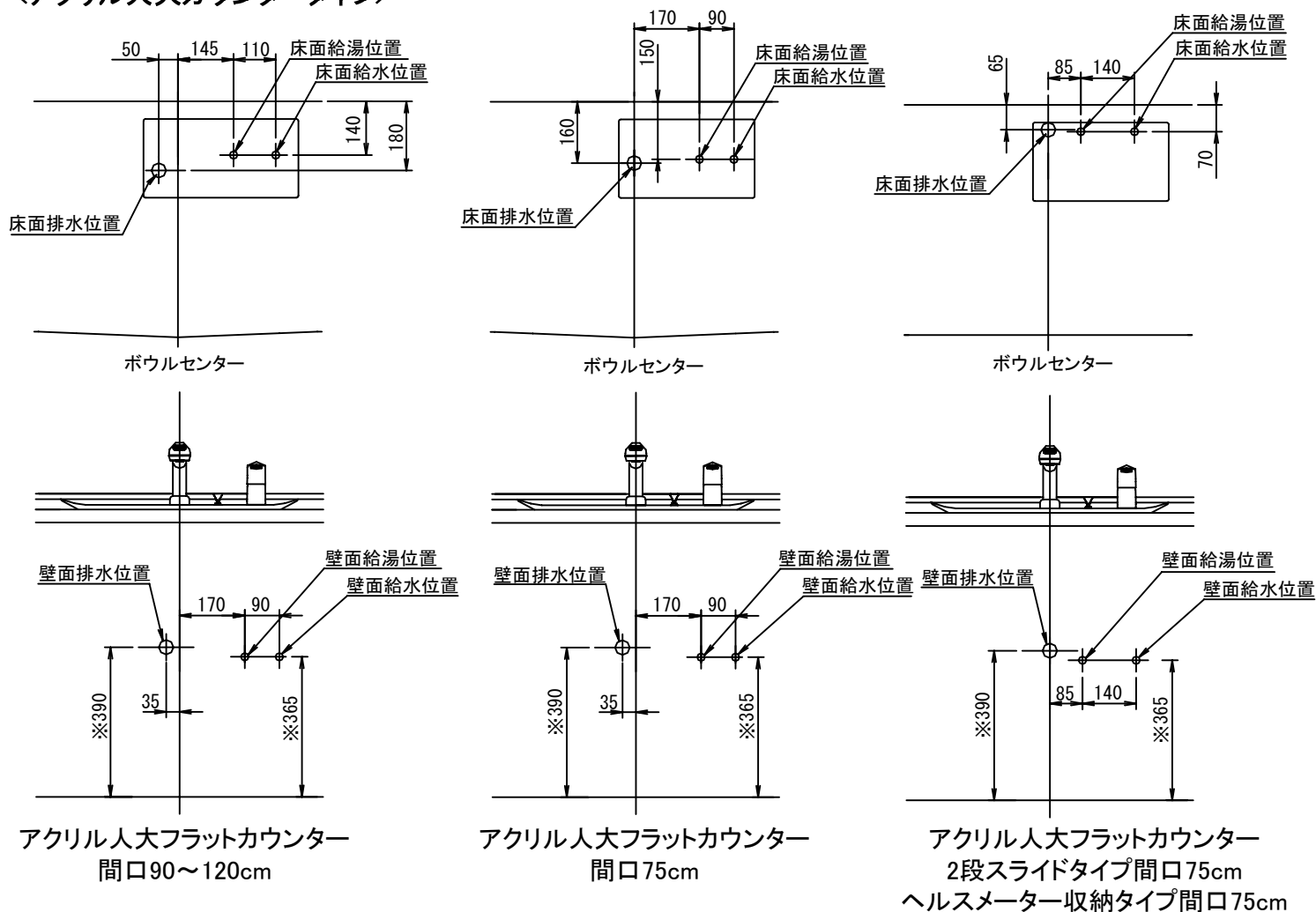
●給排水位置

注)図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。

カウンター高さ80cmの場合、※印の寸法は+50mmとなります。

[]は、フラットカウンターの場合、< >はハイバックカウンターの場合を示します。

<アクリル人大カウンタータイプ>

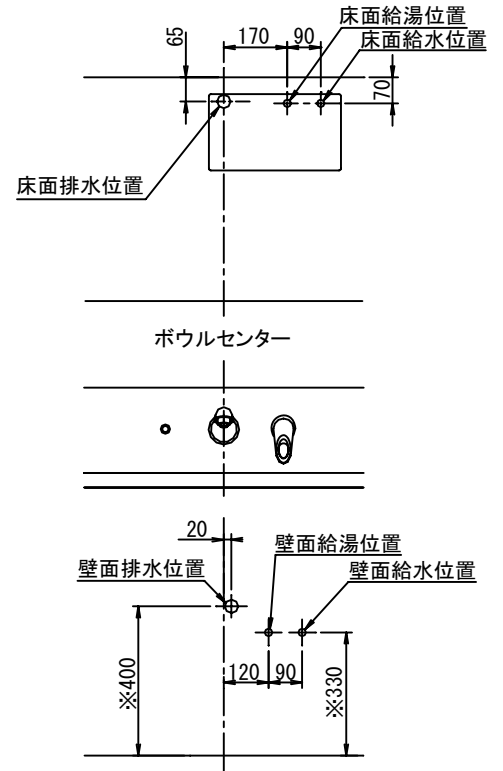
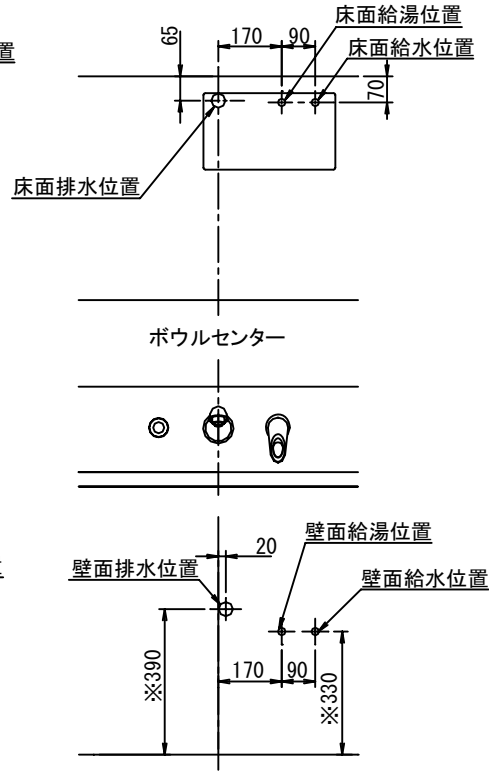
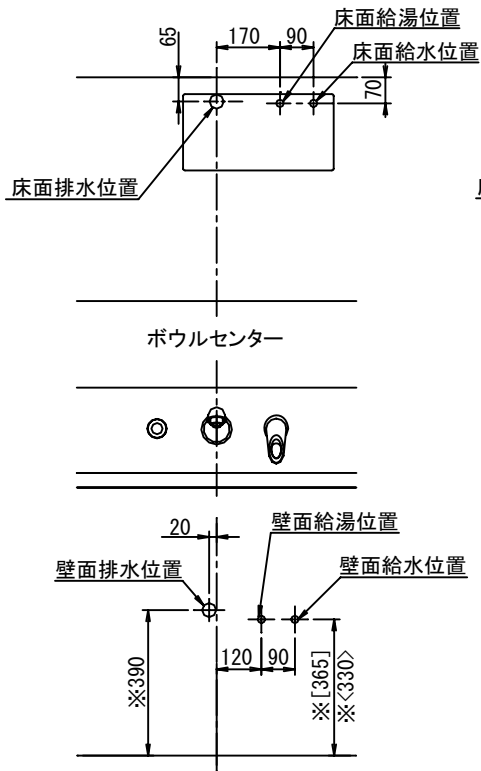


アクリル人大フラットカウンター
間口90~120cm

アクリル人大フラットカウンター
間口75cm

アクリル人大フラットカウンター
2段スライドタイプ間口75cm
ヘルスメーター収納タイプ間口75cm

＜ポリエステル人大カウンタータイプ＞

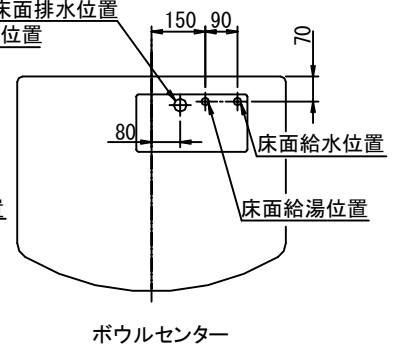
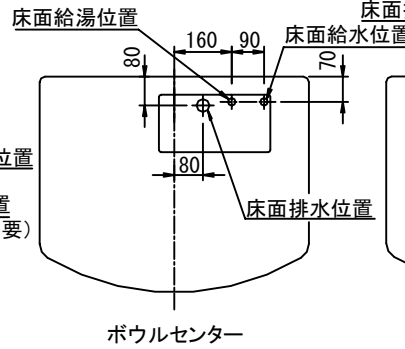
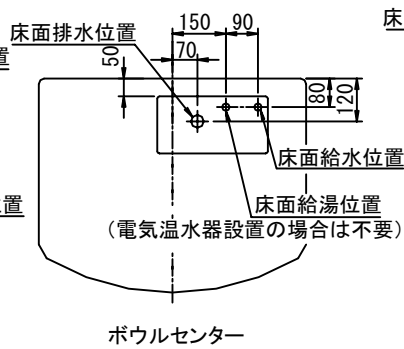
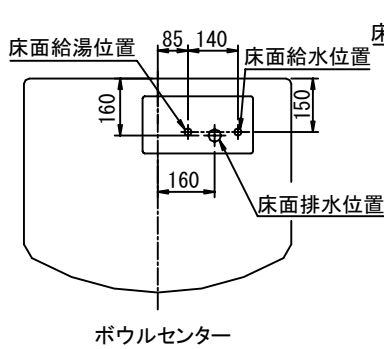


アクリル人大ハイバックカウンター
間口90～120cm
アクリル人大フラットカウンター
2段スライドタイプ間口90cm
ヘルスメーター収納タイプ間口90cm

アクリル人大ハイバックカウンター
間口75cm

ポリエステル人大
ハイバックカウンター

＜ホーローボウルタイプ＞



ホーローボウルデッキ水栓
(ゴム栓仕様)

ホーローボウル壁出水栓
(ゴム栓仕様)

ホーローボウルデッキ水栓
(ポップアップ仕様)

ホーローボウル壁出水栓
(ポップアップ仕様)

設置手順

<洗面化粧台の設置順序>

洗面化粧台の設置は下記の順序にしたがってください。

●人造大理石タイプの場合

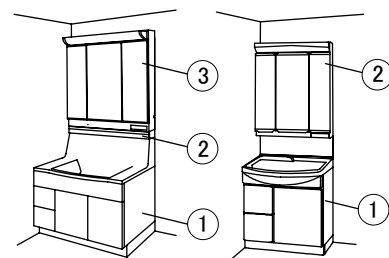
①洗面下台 → (②スライドトレイ) → ③ミラーキャビネット

●ホーローボウルタイプの場合

①洗面下台 → ②ミラーキャビネット

※スライドトレイはオプションです。

※ミラーキャビネット・スライドトレイの設置は、それぞれに付属している設置説明書にしたがってください。



下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。 ※印はハイバックカウンターのみです。

(1)付属部品の確認 ⇨ (2)ボウルとバックパネルの接続 ⇨ (3)水栓の取付 ⇨ (4)排水部品の取付 ⇨

※(5)カウンターの固定 ⇨ (6)キャビネットの設置 ⇨ (7)給排水管の接続 ⇨ (8)ミラーキャビネットの設置

⇨ (9)コーキング処理 ⇨ (10)扉・引出・スライド扉の調整

(1)付属部品の確認

●付属部品が揃っているか確認してください。

本書に記載以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

○共通部品

	取扱説明書・設置説明書	1部づつ
小物セット	トラスタッピンネジ 4.5×60	2本
	トラスタッピンネジ 4×25	3本
	トラスタッピンネジ 4×12	4本
	トラスタッピンネジ 3.5×14	6本
	カヌークリップ	5個
同梱部品	STラップまたは、S直管トラップ	1個
	Y防臭キャップ(排水管アダプター)	1個

○人大フラットカウンター・人大ハイバックカウンター

同梱部品	テールピースまたは、バック排水管	1個
	ケレップ	1個
	ポップアップつまみ(フラットの場合)	1個

○ホーローボウル(ポップアップ仕様)

同梱部品	テールピースまたは、バック排水管	1個
	ケレップ	1個
	ポップアップつまみ	1個

○ホーローボウルタイプ(ゴム栓仕様・壁出水栓)

同梱部品	ヒートン	1個
------	------	----

○ホーローボウルタイプ(ゴム栓仕様・デッキ水栓)

共通部品のみとなります。

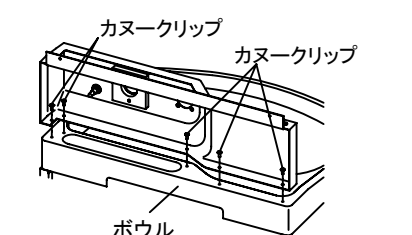
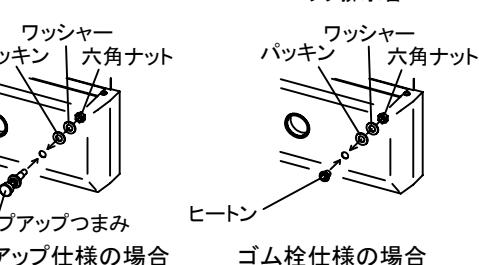
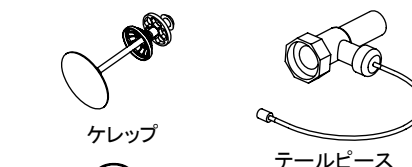
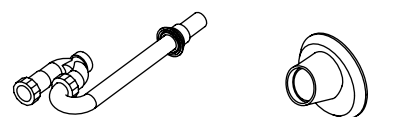
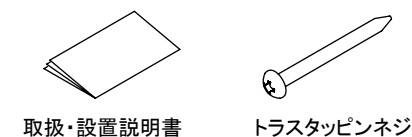
(2)ボウルとバックパネルの接続

(ホーローボウル壁出水栓の場合のみ)

- ①ポップアップつまみまたは、ヒートンを右図のように取付けます。
- ②ボウルの上にバックパネルを置き、付属のカヌークリップを使用してバックパネルを固定してください。カヌークリップは奥までしっかり差し込んでください。

(3)水栓の取付

水栓付属の説明書にしたがって、水栓をカウンターに取付けてください。



(4)排水部品の取付

ボウル・カウンターの種類に応じて下記の作業を行い、最後にストラップを取付けてください。

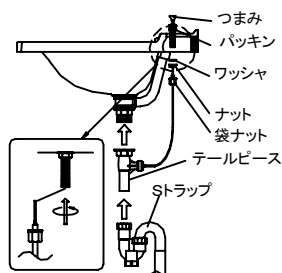
<アクリル人大フラットカウンターの場合>

●扉タイプ・扉(引出付)タイプの場合

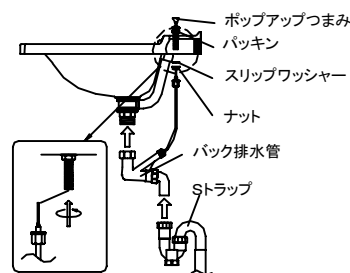
- ①ポップアップつまみとテールピースを取付けてください。
- ②つまみとテールピースを接続してください。

●2段スライドタイプ・ヘルスメーター収納タイプの場合

- ①ポップアップつまみとバック排水管を取付けてください。
- ②つまみとバック排水管を接続してください。



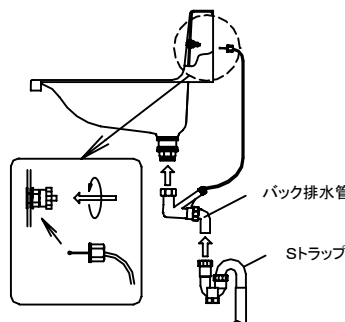
扉タイプ・扉(引出付)タイプの場合



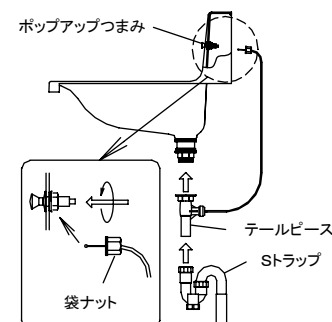
2段スライドタイプの場合

<アクリル人大ハイバックカウンターの場合>

- ①バック排水管を取付けてください。
- ②右図にしたがってバック排水栓ケーブルをスイッチに接続してください。



アクリル人大
ハイバックカウンターの場合



ポリエステル人大
ハイバックカウンターの場合

<ポリエステル人大ハイバックカウンターの場合>

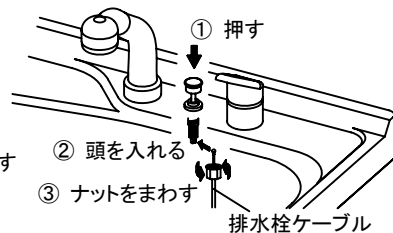
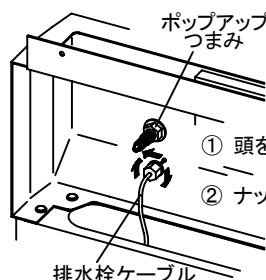
- ①テールピースを取付けてください。
- ②ポップアップつまみとテールピースの排水栓ケーブルを接続してください。

<ホーローボウル壁出水栓(ゴム栓仕様)の場合>

バックパネルのヒートンにゴム栓を取付けてください。

<ホーローボウル壁出水栓(ポップアップ仕様)の場合>

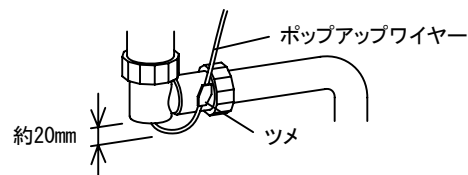
- ①バック排水管を取付けてください。
- ②右図のように排水栓ケーブルをポップアップつまみに接続してください。



<ホーローボウルデッキ水栓(ポップアップ仕様)の場合>

右図のように排水管から出ている排水栓ケーブルをポップアップつまみに接続してください。

ご注意: ポップアップワイヤーが排水器具のツメから外れている場合は、必ずツメに引っかけてください。(ワイヤーは排水器具からのたるみが約20mmになるように引っかけてください。)

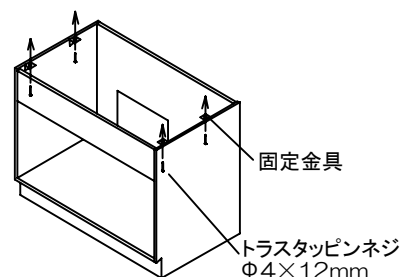


(5)カウンターの固定

(ハイバックカウンターの場合のみ)

キャビネット両側の固定金具を介してトラスタッピンネジ(4×12)4本で固定してください。

ご注意: キャビネットとカウンターにすき間が発生する場合は、固定金具の上下位置を調整して取付けてください。

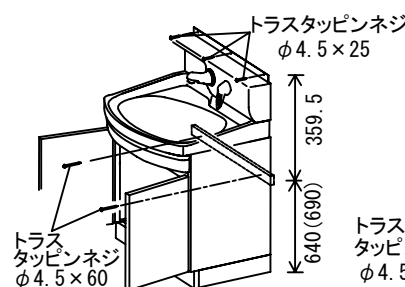


(6)キャビネットの設置

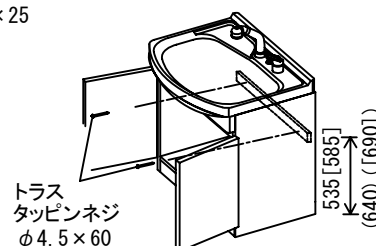
- ①点検口蓋を止めているネジをはずして、底板点検口蓋をはずしてください。(引出タイプの場合は引出も外してください)
- ②壁面配管の場合、現場の配管位置に合わせて、必要な穴(給水管、給湯管、排水管用)を後板に加工してください。
- ③キャビネットを所定の位置に設置してください。

ご注意: 床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタツキのないように水平に設置してください。

- ④キャビネット内部より、壁面にネジで固定してください。



ホーローボウル
壁出水栓タイプの場合



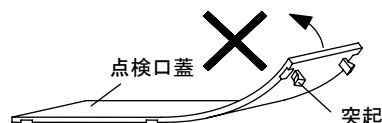
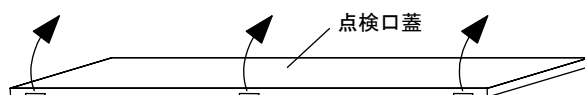
ホーローボウル型型人大カウンター
ホーローボウルデッキ水栓タイプの場合
注) ()内の寸法は、ホーローボウルタイプの場合
[]内の寸法は、カウンター高さ80cmの場合

(7)給排水管の接続

＜底板点検口蓋の取り外し(樹脂製点検口の場合)＞

●底板点検口蓋

手前側の凹み3箇所部分を持ち上げ、
底板点検口蓋を取り外してください。



ご注意: 図の様に指示と異なる方法で無理に外さないでください。
突起が折れる可能性があります。

＜給排水の接続の前作業＞

床面配管の場合、現場の配管位置に合わせて、必要な穴(給水管・給湯管・排水管用)を底板点検口蓋に加工してください。

＜給水管・給湯管の接続＞

- ①前作業であけた穴を給水管・給湯管に通して、止水栓を給水管・給湯管に接続してください。
- ②水栓付属の説明書にしたがって、水栓と止水栓を接続してください。

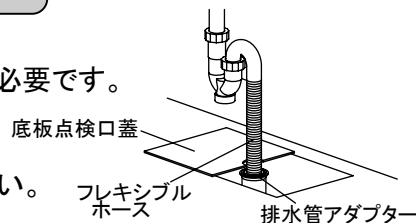
ご注意: ・止水栓と室内側給水給湯管の接続にフレキシブル管を使用しないでください。
水圧により、接続部がはずれるおそれがあります。
・パッキンの取付け位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因となります。
・金属製のナット類は十分締め付けてください。締め付け不良の場合、水漏れの原因となります。

＜排水管の接続＞

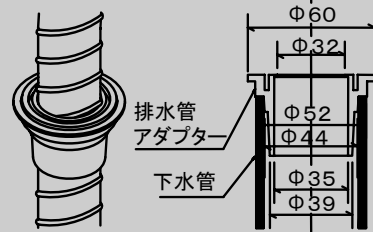
作業前に床排水か壁排水かを確認してください。壁排水の場合はP管(別売部品)が必要です。

●床排水の場合(フレキシブルホースの場合)

- ①底板点検口蓋穴に、トラップのフレキシブルホース部を通してください。
- ②フレキシブルホース部の先端に排水管アダプターを通し、排水管に接続してください。
- ③底板点検口蓋を底板に取り付けてください。

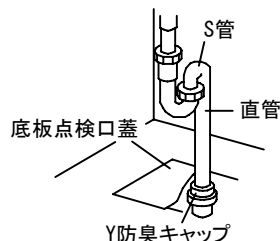


ご注意: ・排水管アダプターは、内径40、44、51の3種類の排水管に接続できます。
すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
・U管・P管の袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締め過ぎないでください。袋ナットが破損するおそれがあります。
・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、ゆがんだ状態で締め付けしないでください。水漏れの原因になります。



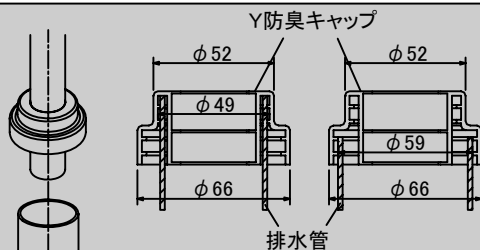
●床排水の場合(直管タイプの場合)

- ①排水管設置位置を確認の上、底板点検口蓋を切り欠いてS直管部を通してください。
- ②S直管排水部の先端にY防臭キャップを通し、排水管に接続してください。(右図参照)
- ③S直管部に通した底板点検口蓋を、底板にセットしてください。



ご注意: ・Y防臭キャップは、VP40、VU40、VP50、VU50の4種類の排水管に接続できます。

- ・Y防臭キャップは、排水管にしっかり差し込んでください。すき間が生じると、臭気や湿気が漏れるおそれがあります。
- ・袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締め過ぎないでください。袋ナットが破損するおそれがあります。
- ・台形パッキンは、向きや取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。



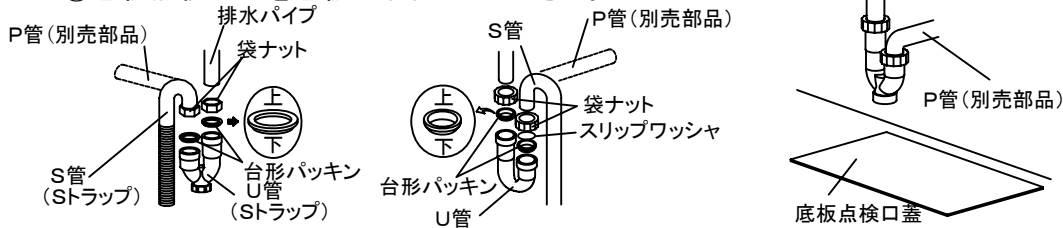
VP40・VU40の場合

VP50・VU50の場合

●壁排水の場合

- ①後板にあけた穴に、P管を通してください。
- ②建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とストラップのU管を確実に接続してください。
- ③P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。

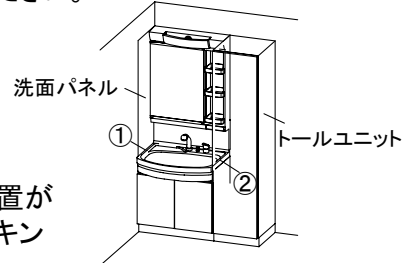
④底板点検口蓋を底板に取付けてください。



●凍結防止・結露防止が必要な場合は、配管に保温剤を巻く等の保温処理を施してください。

(8)ミラーキャビネットの設置

ミラーキャビネット付属の説明書にしたがって、ミラーキャビネットを設置してください。



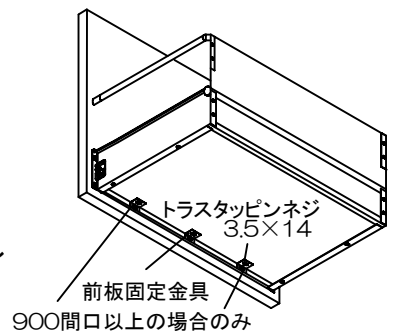
(9)コーキング処理

洗面下台に続いてミラーキャビネット、ウォールキャビネット、トールキャビネット等の設置が完了しましたら、外観向上および防水処理のため、次の箇所をシリコン剤(白)でコーキング処理を行ってください。

- ①ボウルと洗面パネルの間の目地
- ②ボウルとトールユニットの間の目地

(10)扉・引出・スライド扉の調整

- 扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は「取扱説明書 調整方法P7,8」にしたがって調整してください。
- 調整後、60間口以上については前板固定金具と前板をトラスタッピンネジで固定してください。ただし、90間口以上の引出は、前板固定金具を3つ固定してください。



点検・仕上げ

●安全点検

- ・キャビネット本体と床の間でガタツキがないか確認してください。
- ・取付部材がしっかりと固定されているか確認してください。
- ・水栓の取扱説明書にしたがって、湯水混合栓の整流網をはずして水を流し、配管内のゴミや油を十分に洗い流した後、整流網を元通りに取付けてください。
- ・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- ・シャワーホースがスムーズに出し入れできることを確認してください。
- ・ポップアップを動かし、ポップアップ排水栓が作動することを確認してください。
- ・電気温水器については、機器に添付されている試運転の方法または、操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

●仕上げ

設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませ固くしぼった布または水をよくきったスポンジで拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませ固くしぼった布または水をよくきったスポンジで洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



お願い事項

●商品の養生

すべての作業が完了しましたら、キャビネットを保護養生してください。

●取扱説明書の保管・引渡し

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

10155821

3K-8

設置説明書SMA(8)